



生路保育園の子どもたちの様子

大きな砂山で、砂を掘り返したり砂の塊を集めたりすることを楽しんでいます。山の頂上に立ち嬉しそうな表情をする子もいました。また、石鹸を削ってクリーミーな泡を作ることを楽しむ子、泡の中に種を入れジュースにしている子の姿も見られます。



ここを
もっと掘ろう

夏から行っていた泡遊びですが、自分たちで泡を削り、生クリームのようなトロトロな泡を作るために水の量を調節したり、色をつけるためにはどうしたらよいか考えたりしながら遊ぶ姿が見られるようになりました。



やっほ～！
こんなに高い所
にも登れたよ！



冬の寒さにも負けず、体を動かして遊んでいます。年長児が竹馬をする姿を見たり、友だちがやっこに乗っている姿を見たりしたことで、年中児の「やってみよう」と意欲が高まりました。

竹馬の前段階として、やっこを設定すると、次々に取り組み、一生懸命行っています。支えがなくても、進めるようになったり、進める距離が長くなったりする子が増えてきました。



円柱の木と登り棒を組み合わせて、アスレチッククックのような遊び場を作りました。一見危険にも見えますが、保育士と共に「どこに木を置いたら転がっていかないか」と転がりそうな箇所にはタイヤを置きました。新しく加わった友だちにも、「揺れるけど転がらないから大丈夫だよ」と声をかけながら遊ぶ姿も見られました。



お父さん！
こっちよ〜



ここに
葉っぱが！

だいぶ
きれいになったね



おうち
作ったの！